令和６年度　第６回裾野市上下水道事業審議会　会議録及び議事録要旨

日　時：令和７年３月４日（火曜日）　１３時３０分から１５時まで

会　場：裾野市役所４階４０２会議室

出席者：委員８名（順不同）

・小林　建次　委員（裾野市東地区区長会）

・杉山　 孝　 委員（裾野市西地区区長会）

・田中　正延　委員（裾野市深良地区区長会）

・臼井　正明　委員（裾野市富岡地区区長会）

・杉山　幸彦　委員（裾野市須山地区区長会）

・有井　静子　委員（裾野市消費生活団体協議会）

・大竹　七郎　委員（市民委員）

・齋藤　利晃　委員（日本大学理工学部土木工学科教授） （会長）

事務局　８名

・石井水道部長

・大庭上下水道経営課長

・山田上下水道工務課長

・服部上下水道工務課主幹

・芹澤上下水道工務課主幹

・柏木上下水道経営課係長

・市川上下水道経営課主任

・佐々木上下水道経営課主任

傍聴者：３名

次　第 進行：大庭上下水道経営課長

１　開　会（省略）

２　会長あいさつ（省略）

３　議　事

1. 審議会の公開・非公開について
2. 答申書（案）の最終確認及び承認について

答申

令和6年度　裾野市上下水道事業審議会　答申

・会長による市長への答申書提出

・市長挨拶

・懇談

1. 裾野市水道事業経営戦略について

【議事１】審議会の公開、非公開について

事務局案を説明し委員質疑なし。下記のとおりとなった。

今回の審議会での議事は、プライバシーに関することや、料金改定に関する話はないので、前回同様、会議は公開、議事録は要旨公開となった。

『議事の要旨』

令和6年度第6回審議会では、上下水道事業に関する答申の最終確認と市長への提出が行われた。会議は公開とされ、議事録は要旨公開とすることが決定された。

今回の答申は、令和5年度・6年度の諮問に基づき、以下の2件について実施された。

1. 公共下水道基本計画の見直し
2. 3事業（水道、公共下水道、簡易水道）の経営状況の確認

水道事業の経営戦略改定案と料金体系に関する答申は、パブリックコメント期間中のため、次回審議会（3月26日）での答申予定となった。

審議では、職員不足に関する附帯意見が強調され、特にベテラン職員の退職による技術継承の困難さが指摘された。水圧や管路網の理解が必要な非常時対応には経験が不可欠であり、早急な人材確保が求められた。

市長からは、技術職の採用難に対する理解と、裾野市の水資源の魅力を活かしたリクルート活動への意欲が示された。また、管路の老朽化対策や、料金改定の必要性についても言及され、市民負担への配慮をもって段階的な対応を進める方針が示された。

簡易水道事業については、有収率の低さと財政的な課題が指摘され、クラウドファンディングやふるさと納税など新たな財源確保策の検討が提案された。

懇談では、職員不足への対応として広域連携や定員管理の見直しの必要性が議論され、公共下水道基本計画の見直しによる縮小均衡への転換が評価された。

最後に、水道事業経営戦略のパブリックコメント状況が報告され、次回審議会での答申に向けた準備が確認された。委員の任期終了前に答申を完了させるため、3月26日に第7回審議会が開催される予定である。

４　その他

・次回以降の上下水道事業審議会の日程について

〇　第７回審議会　令和7年3月26日（水曜日）　14時00分から　市役所401会議室

及び市長答申 16時から水道事業経営戦略改定についての答申

（会場：401会議室）

５　閉　会

以上